

令和5年度 第1回安全・安心なまち部会

今後の取り組み検討にあたり、ご意見をうかがいたい内容

【支援拒否をされている方々への支援について】

- ・複合的な福祉課題を抱えた方々を支援するためには、区役所・社会福祉協議会・地域包括支援センター・障がい者基幹相談支援センター等、様々な相談支援機関同士が連携することが必要です。
- ・淀川区では、令和5年1月から相談支援機関の連携強化を目的に「夢ちゃんワンチーム」会議を開催し、連携づくりを進めており、5月には様々な相談支援機関がアウトリーチ等で課題を把握しても適切な支援につなげられるよう、「夢ちゃんワンチーム 相談チェックシート」を作成し、使用を開始しました。
- ・「夢ちゃんワンチーム 相談チェックシート」では、「高齢」「障がい」「ひとり親」「生活困窮」などの課題分野別にどの相談支援機関につなげればよいか分類していますが、「その他」分野として「支援がいる状態だが拒否をしている人がある」という項目を設けています。
- ・「ゴミ屋敷」や「ひきこもり」等では、近隣住民や親族は支援が必要と感じていても、本人自身は困り感を持っていない、といった場合があります。そのような「支援拒否をされている方々」への支援について、どのようにお考えかご意見をお聞かせください。

【日ごろの備えと災害発生後の行動について】

- ・GWの最中である5月5日に石川県能登地方を震源する大きな地震が発生し、災害はいつ起こるか分からないということをあらためて認識させられました。
- ・本部会の委員のみなさまは、年代、ライフスタイル、住んでいる場所など全てが異なり、災害への備え方や災害発生後の行動も十人十色と考えます。
- ・そこで、今回の地震に関する報道（ニュース）を見て、委員のみなさまが各々どのように感じたのか、また、この地震を機会として災害に備えるためにしたことやしようと思ったことなど、ご意見やお考えをお聞かせください。